

R 7 校内研究 生活科サークル

生活科の授業における「内谷中学校
校区の9年間を見通した小・中一貫
カリキュラムの研究～試行錯誤しな
がら、粘り強く学習に取り組む児童
の育成～」について

内谷中学校区の9年間を見通した小・中一貫カリキュラムの研究
～試行錯誤しながら、粘り強く学習に取り組む児童の育成～

1. 生活科の授業における 研究主題の目指す児童像

「試行錯誤しながら

粘り強く学習に取り組む」とは

- ① 児童の思いや考えから、願いが学習につながられるようにする
- ② 教師が児童の言葉をひろい、価値づける
- ③ 自分で簡単な学習計画を立てる

「試行錯誤しながら

粘り強く学習に取り組む」とは

- ④ 毎時間の振り返りから、次の時間の課題を立てられる（修正できる）ようになる。
→ 上手くいかなかったことを次につなげられるようにする。

「試行錯誤しながら

粘り強く学習に取り組む」とは

①～④を繰り返し繰り返し経験することで、

◎課題・自分の探究課題の達成に向けて、
あきらめずに取り組むことができるよう
になる。

今年度の生活科サークルのテーマ

- 気付きの質を高める授業づくり

～見付ける、比べる、試す、見通す、工夫するができる児童の育成～

内谷中学校区の9年間を見通した小・中一貫カリキュラムの研究
～試行錯誤しながら、粘り強く学習に取り組む児童の育成～

2 研究授業のまとめ (成果と課題)

○ 日 時：令和7年11月7日（金）第5校時

○ 授業者：清原 友美

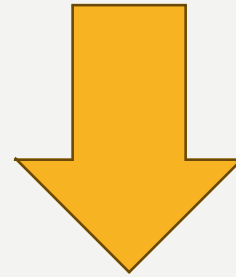
○ 単元名：たのしいあきいっぱい

見つけた秋の自然物を使ってあきのおもちゃや楽器をつくる。



児童の実態

多くの保育園・幼稚園から入学している。
失敗を怖がる児童が多い。



今回の単元のゴール

- 自分の思いをもち、友達とかかわりながら
くり返しチャレンジをする。

手立て

①多様な体験活動の充実

校庭や公園の散策を行い、五感を使って体験する活動を取り入れる...気付きの価値づけ



②表現活動と振り返りの活動の充実

教師や友達との対話を通して気づきを広げる



③教師の言葉かけ

尋ね返したり、問い掛け、共感したりすることで、
無自覚な気付きを自覚させる

④掲示物

児童の思考が整理できるようにする
見通しがもてるようにする



○成果

- 児童主体できるように、児童の思いや願いを大切にしながら行うことで、やる気を持続させて取り組む児童が多かった。
- 他のおもちゃ作りをしている児童、他学級の児童ともかかわりながら行うことで、思いをさらに広げることができた。

● 課題

- 「キラキラタイム」をつくって児童のいいところを伝え合う時間を設けたが、実際に活動を行っているときの本音のつぶやきのほうをもっと全体に広げられるとよかった。
- 振り返りなどを入れると活動時間が短くなってしまったため45分では時間が不十分なことが多い。
- 児童への言葉がけ

【指導者 教育課程指導課主任指導主事 本川 耕 先生より】

生活科の位置づけ

幼稚園⇒スタートカリキュラム⇒小学校

無自覚

より自覚的な学びに向かう

生活科で大切にしたいこと

子どもたちなりの工夫

体験と表現のバランス

思いや願い

体験

表現



- 無自覚を価値づける
- 声かけの仕方の研究
- 学びを自覚させる工夫
- 迷っている、困っている児童には、アイデアを示す。経験が浅い児童にはヒントを与えてあげるのも1つの方法

内谷中学校区の9年間を見通した小・中一貫カリキュラムの研究
～試行錯誤しながら、粘り強く学習に取り組む児童の育成～

3 生活科の 授業改善のポイント

①年間・系統性を見通した計画

- ・低・中・高での学習方法の共通理解・積み重ね

生活科1年の指導内容は理科的内容、2年は社会的内容が多い
(例 〇年生までに〇〇を指導し、次の学年では...)

- ・学年での共通指導

②まずは、自分でやってみる

- ・興味に従って、遊びを試したり、友だちと比べたりする活動をくり返すことで、自分の思いや願いを深める。

③ 「活動」で終わらせない「振り返り」の充実

- ・ 気づきを言語化・可視化させる。
(個々の体験の差を埋めるために、気づきを増やす共有が大切)
- ・ 無自覚であることを広め、高めていくために、関わり方が大事。
価値付け、言語化して促す。
- ・ (メタ認知)
→ 自分ができるようになったことを具体的に挙げさせ、
自己肯定感を高める。

④ 「探求のサイクル」の質を上げる

・ 児童が「もっと知りたい」「こうしたい」という問いをもつ構成

にする。

・ 失敗や試行錯誤を計画に取り組む。

・ 教師がファシリテーターとなり、発問を工夫していく。

(どうすればたのしめるかな? ・似たような遊びをしている子がいるよ。 ・どうやったらできたの? もう一度やってみて。)



そのために、どの単元・どの段階でどう仕組んでいくかが大切!

生活科と理科・社会科の指導の系統性が大切!

生活科でファシリテーション表を作成する。(発問例)

内谷中学校区の9年間を見通した小・中一貫カリキュラムの研究
～試行錯誤しながら、粘り強く学習に取り組む児童の育成～

4 生活科における カリマネの視点

1・2年生 生活科から3年生へ

1年生	2年生	3年生～
<ul style="list-style-type: none"> ・はなをさかせよう (①) ・なつがやってきた (②④) ・いきものと なかよし (①) ・たのしいあき いっぱい (①②④) ・ふゆを たのしもう (②④) 	<ul style="list-style-type: none"> ・生きものなかよし大作せん (①) ・うごく うごく わたしのおもちや (①②) ・ぐんぐん そだて わたしの 野さい (①) 	理科
<ul style="list-style-type: none"> ・がっこうだいすき (④) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ときどき わくわく 町たんけん (④⑤) ・もっと なかよし 町たんけん (④⑤) ・みんなで つかう まちのしせつ (①) ・つながる 広がる わたしの生活 (③④) 	社会
<ul style="list-style-type: none"> ・ときどき わくわく 1ねんせい (①) ・じぶんで できるよ (①②) ・もうすぐ 2年生 (④) 	<ul style="list-style-type: none"> ・春が ・あ 	人プロ

課題意識をもち
探究を進める力

多様な意見を尊重し、
共に幸せを目指す力

①主体性 ②試行錯誤 ③表現力 ④コミュニケーション力 ⑤チームワーク

学習指導の進め方

気づきの質

- 1 試行錯誤や繰り返す活動を設定する
- 2 伝え合い交流する場を工夫する
- 3 振り返り表現する機会を設ける